令和8年度の各表彰が決まりました

問【功労表彰、市民表彰】総務課総務係 ☎26-5700
【農業賞】農政課総合農政係 ☎26-5792
【庄内文化賞】文化政策課管理係 ☎24-2995

市民表彰



日本語学習支援ボランティア べにばな会

中町三丁目［多文化共生推進］

設立以来25年余りにわたり、市内に暮らす外国出身者が言葉の壁による不自由を感じることなく快適に生活できるよう、一人一人のニーズに応じたきめ細かな日本語学習支援を継続してこられました。相互の文化理解を深めるための交流事業や、会員の研修・人材育成にも注力して時代の変化に応じた支援を実践し、外国出身者の大切な「居場所」として、本市の多文化共生の推進に多大な貢献をされました。

【主な経歴】
平成13年4月／団体設立
平成20年／酒田市前田福祉賞受賞



村山 英太郎氏

93歳／東栄町
［保健衛生・産業振興］

医師として68年の長きにわたり現在も診療に携わるとともに、がん検診受診率向上の推進とエックス線画像の読影業務に精力的に尽力されました。新型コロナウイルス流行時には、集団・個別予防接種に積極的に協力し、地域の公衆衛生向上に努められた他、警察医として死体検案にも長年従事されました。また40年余りにわたり学校保健医として生徒の健康管理・健康相談などを行うなど、本市の保健衛生の向上に多大な貢献をされました。

【主な経歴】
昭和61年4月／酒田市立第二中学校学校医
昭和61年5月／山形県警察検視等立会医師
平成6年7月／酒田地区医師会監事

功労表彰



五十嵐 良弥氏

68歳／黒森
［産業振興・文化振興］

地域農業の振興に長年尽力され、平成26年からは酒田市袖浦農業協同組合代表理事組合長として砂丘農業振興と地域農業経営の安定化に寄与されました。特に園芸作物のブランド化と宣伝販売の強化を図り、担い手の確保対策として個人農家などの小規模農業者を重点的にサポートするなど、地域農業の下支えに尽力されました。

近年は、砂丘地の営農に大きな影響を及ぼす松枯れや鳥獣による農作物被害への対応にも積極的に取り組まれました。

さらに、ご自身の居住する黒森地域で280年以上にわたり伝承されてきた黒森歌舞伎に子役の時代から長年携わり、座長としてポーランド公演を実現するなど、伝統文化の保存・継承と国際交流の推進にも寄与されました。このように、本市の産業および文化の振興に多大な貢献をされました。

【主な経歴】
平成26年6月／酒田市袖浦農業協同組合代表理事組合長
令和元年11月／黒森歌舞伎妻堂連中座長

◇**功労表彰および市民表彰**
広く公共の福祉や市勢の発展に尽力され、功労が特に顕著な個人または団体、市民の模範となるべき篤行者および市民生活の向上や公共的活動に尽力した方を表彰するもの

◇**農業賞**
初代酒田農業協同組合組合長 伊藤惣治郎氏の遺志により遺族から寄付された基金をもとに制定されたもので、農業振興に積極的に取り組み、他の模範となる個人または団体を表彰するもの

◇**庄内文化賞**
庄内地方に居住し、文化および芸術に関する活動または阿部次郎に関する研究において、優れた成果を挙げた個人または団体を表彰するもの

市民表彰



故 五十嵐 京氏
享年72歳／錦町三丁目
［人権擁護］

平成5年に保護司として委嘱されて以来、32年余りの長きにわたり更生保護に精力的に従事されました。また、酒田飽海地区保護司会理事、副会長を経て平成29年には同会長に就任し、地区の指導的役割を果たされました。本市のみならず、山形県保護司会連合会副会長および東北地方保護司連盟理事も歴任され、広域的な更生保護活動にも尽力されました。このように長年にわたり、更生保護を通じて犯罪や非行のない安心・安全なまちづくりに多大な貢献をされました。

【主な経歴】
平成5年5月／保護司
平成29年4月／酒田飽海地区保護司会会長



佐藤 賢一氏
79歳／三之宮
［住民自治］

平成21年から三之宮自治会長として現在に至るまで、豊富な知識と強い責任感をもって地域住民のために尽力されました。また平田自治会長会会長を務め平田地域全体の振興に貢献された他、郡鏡・山谷コミュニティ振興会会長としても組織をまとめて地域でのリーダーシップを発揮されました。福祉分野でも地区社会福祉協議会副会長、酒田市社会福祉協議会理事などを歴任するなど、本市の住民自治の推進に多大な貢献をされました。

【主な経歴】
令和元年4月／郡鏡・山谷コミュニティ振興会会長
令和3年4月／平田自治会長会会長



大泉 さゑ氏
71歳／上安町一丁目
［社会福祉］

平成13年から酒田市民生委員・児童委員として要支援世帯の実情把握や相談活動に精励されました。平成24年からは泉学区・富士見学区の主任児童委員として小中学校と定期的に情報交換を行い、不登校やいじめ、要保護児童の早期把握に努め、学校・行政・地域のネットワーク構築に貢献されました。また中学校のクラブ活動支援や小学校での読み聞かせにも取り組まれ、本市の地域福祉の向上と児童健全育成に多大な貢献をされました。

【主な経歴】
平成13年12月／酒田市民生委員・児童委員
平成24年1月／酒田市民生委員・児童委員（主任児童委員）



故 佐藤 善一氏
享年75歳／飯森山二丁目
［住民自治］

平成25年から12年余りにわたり、十坂コミュニティ振興会会長として地域住民の融和と連携を図り、地域の振興と発展に尽力されました。また飯森山自治会会長、酒田市コミュニティ振興会連絡協議会会長を歴任し、住民自治の推進と地域社会の発展に寄与されました。さらに、市議会議員、保護司、社会福祉法人理事長などを務め、幅広い分野でも尽力されています。このように、本市の住民自治の推進に多大な貢献をされました。

【主な経歴】
平成25年4月／十坂コミュニティ振興会会長
平成29年4月／酒田市コミュニティ振興会連絡協議会会長
令和5年4月／同上（2回目）

令和8年度の各表彰が決まりました

市 民 表 彰



阿部 博氏
65歳／幸町二丁目
［消防防災］

昭和58年に酒田市消防団員に任命されて以来、36年余りの長きにわたり消防任務の遂行に尽力されました。平成28年には酒田市消防団副団長に就任し、常に団長を補佐して団運営の円滑化に努めるとともに、時代に即した組織改革にも積極的に取り組まれました。予防活動では住民への防火指導や住宅用火災警報器の普及に尽力し、救急救命分野では応急手当普及員の資格を取得して団員への講習に努められるなど、安心・安全の地域づくりに多大な貢献をされました。

【主な経歴】
平成28年4月／酒田市消防団 酒田支団長（副団長）



山口 弘子氏
69歳／曙町一丁目
［社会福祉］

平成13年から酒田市民生委員・児童委員として、要支援世帯の実情把握や住民に寄り添った相談・支援に尽力されました。また、平成11年から富士見学区社会福祉協議会理事および曙町自治会理事を務められ、自治会、社会福祉協議会、地域包括支援センターとの多層的なネットワークを構築し、孤立しがちな高齢者や要支援者の早期発見と適切な支援につなげるなど、地域のセーフティネットの充実に尽力されました。このように本市の社会福祉の向上に多大な貢献をされました。

【主な経歴】
平成13年12月／酒田市民生委員・児童委員



田澤 薫氏
65歳／亀ケ崎二丁目
［社会福祉］

平成13年から酒田市民生委員・児童委員として、24年余りの長きにわたり、亀ケ崎学区・港南学区の主任児童委員として、いじめ、不登校、児童虐待などの要支援児童の早期発見・対応に取り組み、専門機関へつなぐ窓口の役割を担われました。また亀ケ崎小学校児童の登下校時の見守り活動を実践し、平成19年からは少年補導員として非行防止や有害環境の浄化に尽力され、児童・生徒の健全育成に寄与されました。このように本市の社会福祉の向上に多大な貢献をされました。

【主な経歴】
平成13年12月／酒田市民生委員・児童委員（主任児童委員）
平成19年4月／少年補導員



佐藤 貴夫氏
65歳／観音寺
［体育振興］

旧八幡町体育指導委員から引き続き、酒田市体育指導委員、スポーツ推進委員として24年の長きにわたり本市のスポーツ振興に寄与されました。酒田市スポーツ推進委員会副会長としても各種大会の企画運営や後継者育成に尽力され、ニュースポーツの普及やスポーツを通じた地域コミュニティづくりに取り組まれました。また総合型地域スポーツクラブ「やわたY-Yクラブ」の理事長なども務められ、本市のスポーツの振興に多大な貢献をされました。

【主な経歴】
平成17年12月／酒田市体育指導委員会副会長
平成18年3月／総合型地域スポーツクラブ
「やわたY-Yクラブ」理事長
令和4年9月／酒田市スポーツボランティア会会長

庄内文化賞



コールShion
北新町一丁目
［音楽］

10代から80代まで36人で活動する女声合唱団で、その合唱は全国的に高く評価されています。

また地域の中学生・高校生を準会員として受け入れることにより、昨今の部活動では体験することが難しい大人数編成での合唱機会の提供を通じて、若年層の指導にも積極的に取り組まれ、次世代の音楽文化を担う人材育成に尽力されています。

【主な経歴】
平成15年／結成
平成27年／全日本おかあさんコーラス大会全国大会出場
令和4年／同大会出場・ひまわり賞受賞

農　業　賞



髙橋 一郎氏
68歳／茨野新田
［農業振興］

庄内みどり農業協同組合の理事や中平田地区農業振興協議会会長などを歴任し、長年にわたり地域の農業者の中核的存在として、地域農業の振興に尽力されました。また地域の多面的機能支払交付金の活動組織である中平田地区環境保全会会長や地元集落の農業者からなる農事組合法人茨野の代表理事など、地域の農業振興に係る要職を務め、さまざまな面で地域農業の基盤を支えるとともに地域を先導してこられました。

【主な経歴】
平成13年6月／庄内みどり農業協同組合理事
平成13年7月／中平田地区農業振興協議会会長
平成28年1月／農事組合法人茨野代表理事

第19回

Mayor's Column

市長コラム

豊かに安心して暮らせるまちを創る



矢口 明子

開庁時間の見直し（試行）について

この度市民表彰を受けられた皆さま、誠におめでとうございます。私が市役所で仕事をするようになりあらためて気付いたのは「酒田をより良くするために働いているのは、市役所の職員だけではない」「多くの市民がボランティアなどの形で市民の生活を守り支えてくださっているからこそ、安心して暮らせる地域ができている」ということでした。皆さまのこれまでの長年の献身に心から感謝の意と敬意を表します。

さて、先月号の広報紙でもお知らせしましたが、令和9年2月から市役所の開庁時間の見直しを試行します。市役所本庁舎、各総合支所、市民健康センターの5施設について、市民の皆さまが入庁できる時間帯は、午前8時45分～午後4時45分になります。開庁前に庁舎に着いた方は待合スペース（本庁舎の場合は1階フリースペース）がありますので、そこで開庁時間までお待ちいただけます。電話の受付時間と職員の勤務時間はこれまでどおり午前8時30分～午後5時15分、業務繁忙期の窓口時間延長も引き続き実施します。開庁時間短縮となる45分間は、システム稼働などの事前準備や業務終了後の後片付け、そして職員間の打ち合わせの時間とし、ミスのない行政サービスを徹底していきます。

私が市役所で働く前、一市民として「銀行の窓口は午前9時～午後3時なのに市役所は午前8時30分～午後5時15分で、難しい事務作業は一体いつしているのだろう?」と思っていました。今回の試行期間中に出てきた課題については一つ一つ検証し、職員の執務環境の改善を質の高い行政サービスの提供につなげていきますので、市民の皆さまのご理解とご協力をお願いします。